

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	観光振興事業(一般経費、観光振興事業費)			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-03-05-01、07-01-03-12-01			担当係名	観光係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	諏訪大社をはじめ、町に数多く存在する「宝＝観光資源」を最大限に活用し、地域内外の様々な人と地域をつなぐことで、交流の活性化と、来訪者の滞在時間の延長を図り、地域内の消費を促進し、観光消費額の増大と観光事業者に経済波及効果を目的に各種施策を展開するとともに、観光事業者に経済効果をもたらすほか、町の賑わいを創出する活性化の効果も期待される。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	観光消費額(一人当たりの消費単価)	諏訪大社周辺活性化事業効果検証調査	円	目 標	2,115	2,400	2,400
				実 績	2,343	2,381	
			達成率	110.8%	99.2%		

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算		
事業費	事業費 A	43,199 千円		52,912 千円		102,298 千円		
	うち会計年度任用職員人件費	1.00 人	1,765 千円	2.00 人	5,668 千円	4.17 人	14,609 千円	
	正規職員人件費 B	1.00 人	6,599 千円	1.00 人	6,417 千円	1.00 人	6,749 千円	
事業費合計 C (A+B)		49,798 千円		59,329 千円		109,047 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	1,095 千円		1,500 千円		1,500 千円	
		県の負担	3,820 千円		千円		千円	
		町の借入	千円		千円		千円	
		その他	2,931 千円		2,030 千円		3,731 千円	
		うち使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源(町の負担)		41,952 千円		55,799 千円		103,816 千円		
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	C	これからの観光地域づくりには、行政だけではなく、民間企業や地域住民、下諏訪町観光振興局との協働が必須である。地域資源の分析や観光動向の把握など、アフターコロナに向けて、民間事業者等とともにより戦略的で効果的な観光施策を実施する必要がある。
公平性	B	直接的な受益者は観光客であり、それに伴い経済的な受益は観光関係事業者が享受している。まち歩きの推進などの事業効果により町の賑わいの創出、地域活性化がみられ、それに伴い町内事業者や地域住民などが広く受益を享受している。
効率性	A	民間事業者及び下諏訪町観光振興局、地域おこし協力隊との連携・協働により、町内案内看板や各種パンフレットの整備が進み、それに伴って観光客のまち歩きが促進されたことで、滞在時間の伸びや観光消費額の増大がみられる。
達成度	B	下諏訪町観光振興計画では、令和5年度までに観光客一人あたりの消費単価を3,000円まで増額させる目標であり、徐々に増額の兆しがでてきている。今後はコロナ禍においてトレンドとなりうる個人旅行向けの各種施策を充実させ、さらなる消費単価の増額を図り、令和5年度までの目標達成を図る。

総合評価	現状維持	人口減少や少子化・高齢化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により地域経済の先細りが進んでいるため、アフターコロナを見据え、観光人口や交流人口獲得への準備を進めるとともに、来年度の御柱祭にむけた観光誘客を一過性のものとしないうる個人旅行向けの各種施策を充実させ、さらなる消費単価の増額を図り、令和5年度までの目標達成を図る。
	現状維持	
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	観光施設の管理			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	070103-10-01			担当係名	観光係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	下諏訪町に訪れた観光客に気持ちよく施設を利用していただき、リピーターの増加に繋げ、また、豊かな自然環境を保全するため、観光施設の整備、管理を行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	観光客入り込み	観光客利用者統計	人	目 標	1,385,000	900,000	900,000
				実 績	1,428,000	931,400	
達成率	103.1%	103.5%					

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算		
事業費	事業費 A	86,752 千円		211,639 千円		84,664 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円	
	正規職員人件費 B	1.00 人	6,599 千円	1.00 人	6,417 千円	1.00 人	6,749 千円	
事業費合計 C (A+B)		93,351 千円		218,056 千円		91,413 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		9,515 千円		千円	
		県の負担	26,699 千円		22,373 千円		22,500 千円	
		町の借入	千円		千円		千円	
		その他	29,600 千円		135,155 千円		44,874 千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円		55 千円		74 千円	
一般財源 (町の負担)		37,052 千円		51,013 千円		24,039 千円		
受益者負担率 (D/C)		0 %		0.025 %		0.081 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	C	協働を検討すべき 安全で気軽に楽しめる環境整備を進める上で、施設の整備や維持管理は行政が担う必要はあるが、施設の運営面や誘客を図る上では地元住民の意見や協働による取り組みを取り入れるのも必要。
公平性	B	検討の余地がある 観光施設の数は増加傾向にあるため、新規企画の実施や営業活動による拡販を行い収益性の向上が課題となる。また公衆トイレなどの無料施設については一部受益者による負担を求めている施設もある。
効率性	B	検討の余地がある 指定管理制度を採用する施設を増加し、運営している観光施設の管理の一元化を図っている状況であるが、新型コロナウイルスの影響により各施設とも前年の入館者数よりも減少している。
達成度	B	目標値どおりである 観光施設の整備や管理者制度の導入による運営方法の見直しと、新型コロナウイルスの影響による観光客入り込み客数の見直しを行ったことにより目標は達成しているが、厳しい状況が続いている。

総合評価	現状維持	安全に楽しく下諏訪町を観光していただくためには、ハード面・ソフト面を含めた適切な施設運営が求められている。令和2年度に産業観光系施設の個別施設計画を策定しており、計画に基づいた施設運営が求められているが、新型コロナウイルス影響により観光動向に合わせた施策展開をしている。
	現状維持	
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	しもすわ今昔館おいでやの管理運営			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-03-14-01			担当係名	観光係
事業区分	単年度予算	運営方法	委託		
事業の開始・終了	年	月～	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	下諏訪町観光施設に関する条例、下諏訪町観光施設に関する条例施行規則、下諏訪町埋蔵文化財センター・星ヶ塔ミュージアム条例				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	平成30年度から「しもすわ今昔館おいでや」に名称を変更して、「時計工房儀象堂」と「星ヶ塔ミュージアム矢の根や」を一体とし、町の歴史や文化を紹介しながら、まち歩きを促す拠点としての機能を持たせるとともに、体験・体感を楽しめ、また訪日外国人旅行者にも対応した施設として、また地域に根ざした観光活性化の拠点施設を目指し、指定管理者(下諏訪町地域開発公社)とともに管理、運営を行う。					
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	観光施設の売上額	観光施設の売上額(指定管理者制度導入後の利用者数の増加)	万円	目標	2,500	2,515
				実績	2,002	2,059
達成率	80.1%	81.9%				

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	8,651 千円		10,408 千円		49,414 千円	
	うち会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.50 人	3,299 千円	0.50 人	3,208 千円	0.50 人	3,375 千円
事業費合計 C (A+B)		11,950 千円		13,616 千円		52,789 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	1,000 千円	千円	千円	千円
	うち使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源(町の負担)		11,950 千円		12,616 千円		52,789 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区分	評価	説明
妥当性	C	協働を検討すべき
公平性	A	適切である
効率性	A	適切である
達成度	C	目標値以下である

総合評価	拡充	周遊の拠点として、まち歩き促進の機能として重要な役割を担っている。収益確保のため、時計作り体験に関しては、自宅で体験できるセットが好評で、コロナ禍においても一定の成果を得ている。また、修学旅行においては、コロナ禍で県内の小中学校の利用が増加し、コロナ前を超える受入数となった。今後もアフターコロナに向けて、受け入れ体制の整備などを進め、さらなる集客を図る。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	アフターコロナに向けて、受け入れ体制の整備などを進め、さらなる集客を図ることとしたため。

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	八島ビジターセンターあざみ館の管理運営			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-03-18-01			担当係名	観光係
事業区分	単年度予算	運営方法	委託		
事業の開始・終了	年	月～	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	八島ビジターセンターあざみ館条例				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	八島湿原でのトレッキングや、自然観察の拠点として、八島湿原の紹介、物品販売等により訪れる観光客へのおもてなしに努めるとともに、国の天然記念物に指定されている八島ヶ原湿原の貴重さを理解してもらい、自然環境保全の推進に寄与する。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	観光客入り込み	営業報告	人	目標	40,000	40,000	25,000
				実績	38,600	21,359	
達成率	96.5%	53.4%					

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	879 千円		1,058 千円		907 千円	
	うち会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.60 人	3,959 千円	0.06 人	385 千円	0.06 人	405 千円
事業費合計 C (A+B)		4,838 千円		1,443 千円		1,312 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
		うち使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		4,838 千円		1,443 千円		1,312 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区分	評価	説明
妥当性	C	協働を検討すべき 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 平成18年度から指定管理者(観光協会)による管理運営を実施している。今後、霧ヶ峰の自然を残し、伝えていくために、霧ヶ峰全体での連携強化を踏まえた管理運営が必要である。
公平性	A	適切である 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 観光客が主な受益者となる。平成13年度から入館料無料とし、誰でも自由に館内を見学できるようにしている。インタープリターを活用した自然観察は、霧ヶ峰自然教室により、利用者から料金を徴収し実施している。
効率性	B	検討の余地がある 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか ビジターセンターの運営においては、下諏訪観光協会が指定管理者として実施しているが、収支は厳しい状況となっている。利益を得る方策として、物販の充実を図るための研究を行っている。
達成度	C	目標値以下である 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) これまでの観光客は大半が首都圏の学校や団体・個人客であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により首都圏からの団体客が減少したため、大幅に目標値を下回った。また、八島湿原を訪れた方全員が、八島ビジターセンターあざみ館を訪れるとは限らないので、その導線を強化する必要がある。

総合評価	手法改善	エコツーリズムやグリーンツーリズムが盛んになってきており、八島湿原を訪れる人は、増加傾向にある。その中で、コロナ禍の新しい生活様式を取り入れ、八島ビジターセンターあざみ館として、自然教育と収益事業の両立を検討する。
	手法改善の内容	八島湿原の総合案内所としての機能を充実させて、八島ビジターセンターあざみ館への立ち寄りを促し、自然観察の拠点の強化を図る。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	コロナ禍の影響で、入館者数は減少したが、そのような中でも山岳観光は一定の需要があるため、新しい生活様式を取り入れた事業としている。

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	おんばしら館の管理事業			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-03-18-01			担当係名	観光係
事業区分	単年度予算	運営方法	委託		
事業の開始・終了	年	月	～	年	月
根拠法令等の名称	下諏訪町おんばしら館条例、下諏訪町おんばしら館条例施行規則				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	観光客はもとより、地域を含む多くの人々に、御柱祭の歴史や文化に親しむ機会を提供し、下諏訪の文化創造に貢献する施設として位置づけ、下諏訪町全体が活性化するための拠点となる機能を目指す。また、知名度の高い御柱祭をきっかけに、御柱年以外でも祭り文化に触れることができる施設として来訪者の増加を図る。					
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	観光施設の売上額	観光施設の売上額(指定管理者制度導入後の利用者数の増加)	万円	目標 実績 達成率	675 549 81.3%	675 253 37.5%

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	9,233 千円		10,587 千円		4,001 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.60 人	3,959 千円	0.06 人	385 千円	0.06 人	405 千円
事業費合計 C (A+B)		13,192 千円		10,972 千円		4,406 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	1,730 千円		千円	
		県の負担	千円	千円		千円	
		町の借入	千円	千円		千円	
		その他	5,494 千円	2,565 千円		60 千円	
		うち 使用料・手数料 D	5,494 千円	2,565 千円		60 千円	
一般財源 (町の負担)		7,698 千円		6,677 千円		4,346 千円	
受益者負担率 (D/C)		41.646 %		23.378 %		1.362 %	

【事業の評価】

区分	評価	説明
妥当性	C	協働を検討すべき 平成28年度に開館し、町が運営してきたが、令和3年度からは指定管理者(観光振興局)に運営を移した。今後、指定管理者による他施設との連携・商品開発、イベントの開催に期待する。
公平性	A	適切である 直接的な受益者は、観光客であるが、諏訪大社下社春宮を中心とした周遊観光やイベント等、地域住民が集える人場としての位置づけを持つため、観光関係事業者や住民も受益者である。
効率性	A	適切である 施設の保守等は業務委託を実施し、効率的に行われている。
達成度	C	目標値以下である 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、臨時休館や団体客のキャンセルにより大幅な減少となった。令和3年度は、御柱祭前年であるため、再び注目が高まることが予想される。

総合評価	手法改善	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、臨時休館や団体ツアーのキャンセルによって大幅な売り上げ減少となっている。
	手法改善の内容	令和3年度から指定管理者制度を導入し、(一社)下諏訪町地域開発公社が運営管理を行い、物販や館内展示物の充実を行い、事業収益の増加を図る。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	令和3年度から指定管理者制度を導入したため。

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	赤砂崎水辺空間活用事業			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	070103-22-01			担当係名	観光係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	諏訪湖に面した赤砂崎公園のさまざまな活用方法を検討・実施できる団体の立ち上げを支援して、地域住民や地元企業が波及的に多彩な活動ができる拠点化を目指す。令和2年度は新型コロナウイルスの営業により、当初予定していた地元飲食店を中心に実施する「みずベテラス」は中止となったが、下諏訪商工会議所青年部が主体となり、人と人の接触が少ないイベントである「ドライブインシアター」を2日館開催した。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	地域住民が主体となって行うイベント回数	赤砂崎水辺空間活用実行委員会からの報告	回	目 標		2	
				実 績		2	
達成率					100.0%		

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算		
事業費	事業費 A		千円		10,032 千円		1,090 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	0 千円	人	千円	人	千円	
	正規職員人件費 B	人	0 千円	0.50 人	3,208 千円	0.50 人	3,375 千円	
事業費合計 C (A+B)			0 千円		13,240 千円		4,465 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担		0 千円		7,100 千円		0 千円
		県の負担		0 千円		2,329 千円		0 千円
		町の借入		0 千円		0 千円		0 千円
		その他		0 千円		720 千円		0 千円
		うち 使用料・手数料 D		0 千円		0 千円		0 千円
一般財源 (町の負担)			0 千円		3,091 千円		4,465 千円	
受益者負担率 (D/C)			#DIV/0!	%		0 %		0 %

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	C	協働を検討すべき 地域住民や地元企業が主体となって赤砂崎公園の活用方法を検討し、事業実施を行う。赤砂水辺空間活用実行委員会の立ち上げを行った。より主体的で多彩な事業の実施のためには、さらなる協力者の参加が必要な状況にある。
公平性	B	検討の余地がある 公共施設である公園を事業用途で使用を検討している団体には、収入に対して一定のパーセンテージなど事業内容に見合った費用負担の在り方を検討する必要がある。
効率性	B	検討の余地がある 事業内容を精査して、事務手続きや費用の一部を受益者である事業者へ移管することを検討する必要がある。実行委員会の自走できる仕組みを構築する必要がある。
達成度	B	目標値どおりである 赤砂崎公園を活用した取り組みについては波及的に広がりつつあり、取り組み事業である「みずベテラス」を期待する地域住民は多い、また活用方法についても赤砂水辺空間活用実行委員会が主体となり、各団体との連携強化を図っている。

総合評価	現状維持	地域の飲食店が赤砂崎公園で出店する「みずベテラス」を期待する地域住民は多く、取り組んだ事業者からは新しい取り組みも検討したいとの声がある。波及的な広がりにつながるには一定期間の支援が必要であるため、引き続き事業を推進する。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	(新)観光支援緊急対策事業費			担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-03-38-01			担当係名	観光係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	新型コロナウイルス感染症による影響に伴い、業績が著しく落ち込んでいる宿泊事業者及び主に観光客に対して商品やサービスを提供する観光事業者等に対して支援金を支給するとともに、下諏訪観光協会ホームページをベースとした観光誘客サイトの構築、食祭館の観光情報提供システム更新など、コロナ禍での事業者支援と情報発信力の強化を図ることを目的とする。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	観光事業者等 経営支援金	申請件数の実績	件	目 標		170	
				実 績		170	
達成率				100.0%			

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A		千円		35,073 千円		千円
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	人	0 千円	1.00 人	6,417 千円	人	0 千円
事業費合計 C (A+B)			0 千円		41,490 千円		0 千円
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		35,073 千円		千円
		県の負担	千円		千円		千円
		町の借入	千円		千円		千円
		その他	千円		千円		千円
	うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源 (町の負担)			0 千円		6,417 千円		0 千円
受益者負担率 (D/C)		#DIV/0!	%		0 %		#DIV/0! %

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	C 協働を検討 すべき	コロナ禍のため、事業を迅速に遂行するために、(一社)下諏訪町地域開発公社観光振興局と協働した事業とした。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	直接的な受益者は、観光客であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい事業者への直接的な支援を行うとともに、継続して情報発信できる仕組みを整備した。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	(一社)下諏訪町地域開発公社観光振興局が中心となり、事業を推進することで、迅速かつ効率的に展開を図った。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B 目標値どおりである	観光事業者等への直接的な支援件数はおおむね目標に達している。観光情報の発信については、継続的に情報発信できるように努めている。

総合評価	廃 止	(一社)下諏訪町地域開発公社観光振興局が中心となり、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい観光事業者等への支援を実施するとともに、観光誘客ホームページや情報発信システムを整備することにより、観光情報発信の仕組みづくりが完了した。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)		